令和２年度 岐阜県現代陶芸美術館美術品等収集委員会（書面開催）議事要旨

■ 意見聴取期間：令和３年１月２３日～２月４日

■ 書面により意見聴取した委員
石崎泰之委員、伊藤嘉章委員、外舘和子委員、橋本麻里委員、矢橋龍宜委員

■ 各委員からの主な御意見は以下のとおり

１ 令和２年度収集候補作品について

（１）購入候補作品の評価について（３点）

①石黒宗麿 《軟釉鉢》
○収集するに適当である。（全委員）
○制作年が明らかな在銘作品であり、有意義な収集である。（石崎委員）
○人間国宝の作家である石黒宗麿の作品が収蔵されることは喜ばしい。制作年が分かることも貴重である。（伊藤委員）
○「現代陶芸美術館」として収蔵すべき作家であり、作品自体も自由な表現で、独創性があり収集するに適当である。（外舘委員）

②平井智 《トスカーナ・晩秋》
○収集するに適当である。（全委員）
○明快な造形性で、展示効果の高い作品である。（石崎委員）
○現代陶芸と海外（イタリア）との関係を考えるうえでも重要な作家。寄贈候補作品と併せ作域を示し易い。（外舘委員）

③大倉陶園 《下村家旧蔵食器揃》
○収集するに適当である。（全委員）
○完成度の高い洋食器資料として有意義な収集である。（石崎委員）
○制作年、収蔵年も分かる貴重な一括作品。画像で確認できますが、作品の紀念銘、箱書が調書に加われば、完璧である。（伊藤委員）
○産業陶磁器を収集の柱の一つとする美術館として、誠に望ましい。器種が多岐にわたっているのも良い。（外舘委員）
○岐阜の産業に適したコレクションであり、多治見にあるべき作品だと思う。（矢橋委員）

（１）寄贈候補作品の評価について（４点）

①近藤豊　《粉華花器》

〇収集するに適当である。（全委員）

〇完成密度の高い表現性で知られるこの作家の作風がよくわかる。（石崎委員）

〇とにかく寡作なタイプ（若くして死去）のため、貴重な一点である。京都の作家とアメリカの関係を考えるうえでもよい作品。評価額はサイズが小ぶりなためか、やや安いようにも思われる。（外舘委員）

②玉村登陽　《萩茶盌》

〇収集するに適当である。（全委員）

〇近代萩焼のめざした伝統性がよくわかる作品である。（石崎委員）

〇いわゆる井戸形の茶碗だが、作家の紅萩への関心を伝える作品である。今後萩の作家の作品をもう少し充実させていくと、この茶盌がさらに生きるであろう。（外舘委員）

③平井智　《DONNA(女性)》

〇収集するに適当である。（全委員）

〇軽快な表現性が特長であるこの作家の作風がよくわかる作品である。（石崎委員）

〇マジョリカらしい伸びやかさ、柔らかさのある一点。購入候補作品などと併せ、作者の作域を伝え得る。（外舘委員）

④平井智　《光彩》

〇収集するに適当である。（全委員）

〇軽快な表現性が特長であるこの作家の作風がよくわかる作品である。（石崎委員）

〇マジョリカの茶碗というこの作者らしい作で、他の候補作品と併せ収蔵されることが望まれる。（外舘委員）

２　その他

〇購入と寄贈、どちらの候補作品も展示効果の高いものばかりで、よい収集対象である。（石崎委員）

〇収集方針に基づいた堅実で着実な収集が進められていると思います。それぞれの調書もしっかりと書かれていることはとても良いことと思います。（伊藤委員）

〇調査しにくいコロナ禍にあって、よい作品が俎上に上がり喜ばしい。学芸職員の努力のたまものと思われます。（外舘委員）

〇良い作品が御値打ちに入手出来てよかったと思います。（矢橋委員）

○寄贈者が明記されていない場合があるのは、貴館の方針によるものなのでしょうか。 何故だろうと感じたという単純な疑問です。（伊藤委員）

【回答】　４点の寄贈候補作品のうち、２点は作家本人から、２点は遺族、および一 般のコレクターからの寄贈によるもので、後者の寄贈者欄を空欄としました。 寄贈者の個人情報を、あえて収集委員にお示しすることもないかと考えましたが、統一感が欠けており申し訳ありません。来年度はどのように表記するかをよく検討して、お示ししたいと思います。

○コロナによる予算への影響などはあったのでしょうか。（外舘委員）

【回答】　新型コロナウイルス感染症対策費に充てるため、今年度収集予算の約 2/3 を削減しました。